

関係者各位

PRESS RELEASE 2022.12.22

## NAM コレクション展

# 特集展示：信濃デッサン館コレクション

会期：2023年1月19日（木）－2023年3月14日（火）

会場：長野県立美術館 コレクション展示室

今年度最後となる第V期は「信濃デッサン館コレクション」を特集展示します。

長野県立美術館のコレクション（NAM コレクション）は、菱田春草、荻原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に構成されています。コレクション展では1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示します。

第V期は「信濃デッサン館コレクション」を特集展示します。当コレクションは、2018年から翌年にかけて、上田市の信濃デッサン館（現・KAITA EPITAPH 残照館）から新たに収蔵した、村山槐多、関根正二、野田英夫ら<sup>ようせつ</sup>夭折画家の作品を中心とする、絵画、素描、彫刻390点から構成されています。1979年に開館した信濃デッサン館は、館主の窪島誠一郎氏が収集した、日本近現代作家による素描を主軸とする質の高いコレクションを特徴としており、また村山槐多の命日を偲ぶ「槐多忌」を毎年開催するなど、人々の交流の場でもありました。本特集では信濃デッサン館の活動に関する資料とともに、コレクションから選りすぐりの約110点を紹介します。信州の地に集った若き画家たちの結晶と、約40年にわたる館の歩みをご覧ください。



村山槐多《猫を抱ける裸婦》1916(大正5年)

### 展覧会概要

#### NAM コレクション展特集展示：信濃デッサン館コレクション

会 期：2023年1月19日（木）～2023年3月14日（火）

会 場：長野県立美術館 コレクション展示室

開館時間：9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

休 館 日：毎週水曜日

主 催：長野県、長野県立美術館

展覧会担当：池田淳史、古家満葉

観 覧 料：一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料

※本館・東山魁夷館共通 ※（ ）内は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料

## ■信濃デッサン館について

1979年、上田市にある独鈷山山麓の前山寺参道脇に開館。夭折画家の作品77点の展示を起点として、その後も村山槐多《尿する裸僧》を筆頭に日本近現代美術のコレクションを拡充。1986年に分館「槐多庵」、翌年には姉妹館「野田英夫記念美術館」（ウッドストック、閉館）が、そして1997年には戦没画学生慰霊美術館「無言館」が開館する。2018年無期限休館となり、コレクションの一部が長野県立美術館へと寄贈、売却された。2020年、「KAITA EPITAPH 残照館」と改称して再開、現在に至る。

## ■出品作家

あいまつ いしいつるぞう いでのりお えいきゅう おぐまひでお くによしやすお こもだもりすけ せきねしやうじ  
 鬯光、石井鶴三、井手則雄、瑛九、小熊秀雄、国吉康雄、古茂田守介、関根正二、  
 つるおかまさお とはりこがん なかはらていじろう のだひでお のみやまぎやうじ ひろはたけん まつもとしゆんすけ むらやまかい た  
 鶴岡政男、戸張孤雁、中原悌二郎、野田英夫、野見山暁治、広幡憲、松本竣介、村山槐多、  
 やすだりゅうもん やまぎましようぞう やまもととよいち よしおかけん  
 保田龍門、山崎省三、山本豊市、吉岡憲

## ■見どころ

- ・ 信濃デッサン館コレクションの核となる作家たちを紹介  
 信濃デッサン館は、関根正二、野田英夫ら9名の作品の展示から始まりました。本特集も、一斉に集った彼らの作品により幕を開けます。
- ・ 村山槐多作品を一挙に展示  
 大正時代を代表する夭折画家、村山槐多の作品群は信濃デッサン館の顔として広く知られてきました。本特集は、その中から19点を紹介する、貴重な機会となります。
- ・ 信濃デッサン館の歴史を振り返る資料展示  
 年表、資料と共に、開館以降の企画展や催し等、地域に根付いてきた館の多彩な活動を振り返ります。



信濃デッサン館コレクション展 チラシ画像

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。

## 広報用画像



①村山槐多《尿する裸僧》1915(大正4)年



②関根正二《自画像》1916(大正5)年



③村山槐多《猫を抱ける裸婦》1916(大正5)年



④野田英夫《野尻の花》1938(昭和13)年



⑤松本竣介《ニコライ堂》1941(昭和16)年頃



⑥吉岡憲《笛吹き》1943(昭和18)年

長野県立美術館 行

 メール：[nam-pr@naganobunka.or.jp](mailto:nam-pr@naganobunka.or.jp)

FAX：026-232-0050

## 広報用画像申込書

### NAM コレクション展

#### 特集展示：信濃デッサン館コレクション

会期：2023年1月19日（木）～2023年3月14日（火）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。（下記以外の作品画像をご希望の場合はご相談ください。）

○をつけてください↓	番号	画像名
	①	村山槐多《尿する裸僧》1915（大正4）年
	②	関根正二《自画像》1916（大正5）年
	③	村山槐多《猫を抱ける裸婦》1916（大正5）年
	④	野田英夫《野尻の花》1938（昭和13）年
	⑤	松本竣介《ニコライ堂》1941（昭和16）年頃
	⑥	吉岡憲《笛吹き》1943（昭和18）年

#### ●貴社についてお知らせください

貴社名 \_\_\_\_\_ / 媒体名（雑誌、番組名等）

ご担当者名 \_\_\_\_\_ / 所属部署

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ / FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ \_\_\_\_\_ ） に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

## ■関連イベント

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

### 学芸員によるギャラリートーク

当館学芸員が、信濃デッサン館コレクションの出品作品から数点を選び紹介します。

日時：2月18日（土）14：00～

会場：本館2F コレクション展示室入り口

参加費：無料（要観覧券）・事前予約不要

※ご参加の方は、14:00 までに本館2F コレクション展示室入口にお越しください。

※新型コロナウイルス等、諸般の事情により、イベント内容の変更や入場を制限する場合があります。

※その他のイベントについては、現在調整中です。決定次第、当館ホームページやSNSでお知らせします。

## 同時開催

### ●長野県立美術館コレクション展

東山魁夷館：第V期 開催中～2023年2月7日（火）

第VI期 2023年2月9日（木）～2023年4月11日（火）

観覧料：一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円（本館・東山魁夷館共通料金）

### ●戸谷成雄 彫刻（展示室1・2・3）

会期：開催中～2023年1月29日（日）

観覧料：一般1,000（900）円、大学生及び75歳以上700（600）円

※コレクション展との共通券／一般1,500円、大学生及び75歳以上1,000円

### ●発見された日本の風景展（展示室1・2・3）

会期：2023年2月11日（土・祝）～2023年4月9日（日）

観覧料：一般1,200（1,100）円、大学生及び75歳以上1,000（900）円

※コレクション展との共通券／一般1,700円、大学生及び75歳以上1,300円

### ●NAMアーカイブ&リサーチ2022 信州の生活と版画ー上野誠が見つめた戦後（1Fオープンギャラリー 観覧料：無料）

会期：開催中～2023年2月14日（火）

### ●アートラボ2022（2Fアートラボ 観覧料：無料）

第Ⅲ期「荒木優光 ダンスしないか？」会期：開催中～2023年1月29日（日）

第Ⅳ期「ひらくツール ふれるはなすあるく 齋藤名穂×長野県立美術館」会期：2023年2月4日（土）～2023年5月9日（火）

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県立美術館 広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / E-MAIL：[nam-pr@naganobunka.or.jp](mailto:nam-pr@naganobunka.or.jp)